

## **Ⅱ 拠点館事業**

**平成 27 年度 市直営事業実績**

## 1 生涯学習事業研究

生涯学習事業の現代的課題について、具体の先進的事業の事例研究として「調査」・「研究」・「分析評価」・「成果の活用」等を実施する。

### (1) 若者社会参画型学習推進事業

地域課題の解決や復興まちづくりの担い手である若者の「自分づくり」を社会教育的なアプローチを生かして支援すると共に、若者の学びの成果を生かした地域づくり活動等への参画を促進することにより、さまざまな人々と協働しながら身近な地域をより良くすることへの関心を高め、社会・地域の一員として自発的・主体的に行動できる人づくりを推進する。

なお、平成 22 年度から 24 年度は「若者によるまちづくり実践塾」という事業名で各区中央市民センターにおいて実施した。平成 25 年度からは、事業名を変更して新たに各区中央市民センターで実施している。

【各区中央市民センターにおける受講者数等一覧】

区	受講者数（団体数）	受講者延人数	イベント参加者数	受講者内訳
青葉区	6	1 0 2	4 0 0	大学生
宮城野区	1 2	8 0	0	大学生等
若林区	2 3	1 5 4	6 1	大学生・社会人等
太白区	1 0（団体）	1 0 5	4 5	大学生
泉区	3 0	1 9 0	9 6 8	大学生

#### ① 若者によるまちづくり実践塾

##### ＜青葉区中央市民センター＞

地域と若者をつなぐことを目的としたミーティングを重ね、自分たちで企画を立てさせることで社会参画への意識を高めた。また、直接地域に出向いて取材活動をし、フリーペーパー『さんぽ』の第 3 号を発行した。

紙媒体での間接的な関わりだけでなく、地域の中で直接的な活動をしたいとの強い思いも芽生え、地域のイベントにボランティアとして参加したり、青葉区民まつりで自主企画を実施したりするなど、地域に根ざした活動を展開した。

#### ② まいぷろ・Miyagino for Young PROgram

##### ＜宮城野区中央市民センター＞

平成 27 年度は「仙台うみの杜水族館」「地下鉄東西線」「かべしんぶん」というコンテンツを用い、若者が取り組みやすく、かつ地域の「魅力」や「動き」に気づき、新たな活動を生み出そうとする意欲を高めるように工夫した。また事業全般にわたり、仙台市市民活動サポートセンターと連携した。

事業内では自分づくりのサポートをするために、まず「若者のコミュニケーション力を

高める」ことを目指した。事業が進むにつれメンバーが打ち解け、紙面への自分なりの思いを語りながら作業を進める姿も見られ、成長が見られた。また受講者に「地域の課題を見ぬく目を養う」ことを目指し、既に同じような分野で活動している大人たちと出会う機会を多く設けた。学生にとって「少し上の年齢の方」「既に活動している方々」との交流が大いに刺激になっていた。なお制作した「かべしんぶん」は仙台湾の杜水族館をはじめ、杜の都信用金庫、イービーンズ等に掲出した。

### ③ 仙白園プロジェクト・人

#### ＜若林区中央市民センター＞

講座名は若林区中央市民センターが養種園（実験農場の役割を担い、仙台白菜を誕生させた）跡地に立地していることに由来。平成 27 年度は「畑作業」、「ボランティア」などを中心に活動を展開した。「畑作業」では、地域住民メンバーとの作業や調理実習などを実施し交流を深めた。また畑の収穫物（じゃがいも、枝豆、白菜）を活用し、夏の交流会（他区若者事業参加者対象）、冬の収穫祭（クリスマス会）を企画・運営した。さらに「ボランティア班」は六郷東部地区（東六郷夏祭り、運動会など）、区役所関連（道路愛称おひろめイベント）などを支援し、地域での交流の輪を広げた。

### ④ 仙台学生サークルネットワーク事業「つながりんぐ」

#### ＜太白区中央市民センター＞

地域や地区市民センターから「学生と連絡を取りたいがどうしたらいいかわからない」、また、学生からは「社会貢献したいが窓口がわからない」等の意見をうけて、本事業を平成 26 年に立ち上げ、名称を「つながりんぐ」としてスタートした。若者の社会参画をねらいとした活動の受け皿となるネットワークを構築するために、在仙のボランティア活動を行うサークルの新入生歓迎会で直接交渉をしたり、大学で PR 活動を行ったりした。その結果、10 団体の学生サークルが集まった。そして今年度は、長町交流フェスタでイベントを企画（お化け屋敷、落語）し、情報誌を作成した。完成した情報誌は仙台市内の小中学校や地区市民センター、町内会、NPO 法人、地元企業等に配布した。

成果としては、定例会やイベント企画を通して各サークルが互いの活動を知ることになり、より親密な交流を生み出すことができたこと、活動の受け皿となるネットワークが構築されたこと、情報誌の作成により学生の活動を広く発信できたこと、そして地域への関心が高まったことがあげられる。今後の課題は、各サークルの持ち味を生かした活動を行うために、若者の社会参画をねらいとしたイベント等を企画し、実行していくことである。

### ⑤ ICP Izumi Community Project

#### ＜泉区中央市民センター＞

泉区内の大学に通学している学生を中心とした受講生が、ネットワークを広げながら地域創造について考える企画講座である。受講生が持つ泉区のイメージなどを整理し、自分たちが取り組んでみたいことについて話し合い、自主企画を考えた。泉区中央市民センター主催「親子で大学たんけん」では、東北学院大学泉キャンパスと仙台白百合女子大学を

舞台とした見学ツアーをプロデュースした。また、ベガルタ仙台・市民後援会との共催で「ベガッ太くん縁日」を企画し、ユアスタに会場した子ども約 250 名を対象に「ゲートサッカー、射的、わなげ」を実施した。さらに、受講者自身が泉区について知り、まちづくり企画に生かすための研修の場として、「BBQ 芋煮&UniUni 討論会」や「泉ヶ岳雪遊び体験」なども実施した。他にもさまざまな地域活動に参加したり、成人式「交流の広場」や「泉 5 大学まちづくりフェスティバル」で活動報告をしたりするなど、昨年度以上に活動の幅を広げ、学びを深めることができたことに加え、泉区やまちづくりへの関心をさらに高めることができた。

## ⑥「若者社会参画型学習推進事業」にかかる支援及び成果報告会

### ＜生涯学習支援センター＞

各区中央市民センターで実施している本事業の受講者や担当者を対象に、情報交換会や成果発表会を実施し、各区中央市民センターの事業内容の再確認・見直しの機会を提供すると共に、受講者の参加意識の向上を図った。併せて、市民センターにおける本事業の普及・推進を図るために区中央市民センターが実践している本事業の成果と課題から、重要なエッセンス及びノウハウを抽出して地区市民センターにフィードバックすること、及び区中央市民センターの事業が円滑に進むように後方支援を行った。

#### (ア)啓発事業（参加者：各区中央市民センター若者事業担当者）

大学において各区中央市民センターの事業担当者から学生に対して、若者参画型の事業企画、実施内容の PR を行った。若者参画型事業に対する学生の率直な意見を聴く機会にもなった。

H27. 5. 19 宮城教育大学教育学部にて実施

H27. 5. 28 東北学院大学教養学部にて実施

H27. 6. 4 宮城大学太白キャンパス食産学部にて実施

H27. 7. 16, 17 尚絅学院大学健康栄養学科にて実施

H27. 7. 30 聖和短期大学にて実施

#### (イ)視察事業（H27. 7. 5）

各区中央市民センターで開催している本事業の受講者、及び担当者の視野をより広げるとともに、今後の本事業の活性化につなげることを目的として、若者を活かしたまちづくりや地域活性化に取り組んでいる団体の活動を視察した。

またその後、視察先の団体代表を講師として呼び、生涯学習基礎研修において社会教育施設職員に向けて研修を実施した。（【5 人材育成 (1)職員研修 42 ページ】参照）

視察先 「ヨコハマ ハコいりムスメ プロジェクト 2015」

大佛次郎記念館（横浜市）

#### (ウ)方向性を確認する会（H27. 4. 21 参加者：各区中央市民センター若者事業担当者 16 名）

生涯学習支援センター・各区中央市民センターの事業担当者を対象に、年度初めに際して、実施計画をもとに意見交換や講師からのアドバイスを求める機会を設定することで、事

業内容をブラッシュアップするとともに、効果的な事業展開を目指すために実施した。

【講師】水谷 修 氏（東北学院大学 教授）

**(エ)中間報告会**（H27. 11. 12 参加者：各区中央市民センター若者事業担当者 16 名）

生涯学習支援センター・各区中央市民センターにおける事業のこれまでの取組状況の報告と今後の予定などの情報の共有を図り、今後の事業展開の参考とするために実施した。

**(オ)成果報告会**

（H28. 2. 17 参加者：事業受講者 21 名 社会教育施設職員等 50 名 市民 67 名）

メディアテークを会場に、各区中央市民センターの事業担当者、若者事業受講者が平成 27 年度の取組や成果と課題について発表し、コーディネーターや助言者からアドバイスをいただき、次年度事業に向けてのブラッシュアップを図った。

【コーディネーター】水谷 修 氏（東北学院大学 教授）

**(カ)事業評価を検討する会**（H28. 3. 8）

生涯学習支援センター・各区中央市民センターにおける事業評価について、仙台市共通の評価規準を検討し、今後の事業展開の参考とするために実施した。

## **(2) 住民参画・問題解決型学習推進事業**

地域特性に応じた市民協働による地域づくりを推進するため、住民と市民センター職員が協働して地域課題を発見し解決につながる活動を実践することにより、そこでのさまざまな学びのプロセスを通して地域づくりを担う人材を発掘・育成することを目的に、平成 23 年度から各区中央市民センターで事業を実施している。

【各区中央市民センターにおける受講者数等一覧】

区	受講者数	受講者延人数	イベント参加者数	受講者内訳
青葉区	1 3	1 3 6	5 4 4	三本松 5 ・ 柏木 8
宮城野区	2 5	2 6 2	9 5 0	中野 1 1 ・ 東仙台 1 4
若林区	1 9	1 5 4	3 0 0	六郷 1 9
太白区	3 4	1 5 2	1, 7 2 1	区内 3 2 団体
泉区	3 2	8 1	2 7 0	根白石 3 2

### **① 地域元気クラブ**

#### **＜青葉区中央市民センター＞**

受講生（三本松緑地活性化委員会、元気アップ柏木実行委員会：GAK）が講座での学びを生かして、地域の資源や人材を活用し、地域を元気にする企画を提案・実践していくことで、地域活性化のためのノウハウや地域づくりに必要なネットワークを学んだ。企画する事業での参加者や連携先が増えたり、学校をはじめとする地域の諸団体から活動依頼が増えたりするなど地域との顔の見える関係が築かれつつある。（企画・実施した事業…野鳥を見る会、公園整備・活性化に係る勉強会、初日の出を観る会、てらまちフェスタ 2015、

まち歩き，総合的な学習の時間での講師等)

## ② 地域の“絆”再生プロジェクト 「地域づくり講座」

### ＜宮城野区中央市民センター＞

高砂市民センター，東部市民センターと連携しながら，地域の住民がこれまで以上に地域づくりに関心を持ち，地域課題や地域の将来像を共有できるようにするためのワークショップやフィールドワークを行う講座を行った。

今年度の成果として「中野ふるさと学校」では，「ふるさとの喪失」という地域課題を自分事としてとらえ，震災前の地形や足跡を残すために **2つの年代（昭和33年及び平成18年）の「地形模型図作り」**に取り組んだ。作業工程を通じて思いを共有し合い，成果を徐々に広げていくことで次の活動の意欲につなげていった。一方「東仙台耀きクラブ」では，地域の歴史を見直すだけではなく，「これまでの取組を，立ち止まって振り返る」ことで，漠然とした街歩きではなく「街の良さを紹介していく」活動に見通しを持たせることができた。いずれの講座でも取組の段階に応じた手順を踏んで，事業を展開していくことができた。

## ③ わたしのふるさとプロジェクト

### ＜若林区中央市民センター＞

震災による津波で大きな被害を受けた六郷の沿岸地域の状況を踏まえて企画した事業。六郷東部地区は移転された方も多く，震災前と比べて人口が大きく減少している。一方，地域に残った方，戻った方はもとより，移転された方の間でも地域への愛着は強い。このような地域課題を踏まえ，平成27年度も六郷東部地区のコミュニティやにぎわい再生に向けて「わたしのふるさとプロジェクト」を立ち上げ，六郷東部地区住民の交流会開催を目標に地域住民（移転された方を含む）の話し合いを月1回程度行った。1月には東六郷小学校を会場に六郷東部交流会「鎮魂の花火」を実施した。

## ④ たいはく子育て支援ネットワーク事業

### ＜太白区中央市民センター＞

従来の子育て支援ネットワークを生かし，子育て世代への支援と子育て支援者へのサポートを行いながら，地域で活躍できる人材育成を目的に事業展開した。子育て支援者へのサポートとして年5回の**区拠点館主催**の情報交換会や研修会を行った。**（延べ人数152名）**日々の支援活動につながる研修内容が好評を得ており，参加者が学びを**いかせる支援**となった。子育て支援者と子育て世代がつながる場である“太白区初めてママのウェルカムパーティー”（77名）は，参加した子育て世代と子育て支援者が顔見知りになる機会となり，継続して関わり合える関係づくりにつながった。子育て世代への支援として，地区市民センター（3館）と共催講座（4講座）を実施し（全講座延べ受講者数 **1,316名**），継続受講者が自主サークルを立ち上げ，地域交流や子育て支援の場を提供することができた。**また，連携団体や若者事業と共催し地域に根差したイベントや行事を実施することができた。（延べ176名）**「子育て支援」「地域交流」をキーワードに新たな視点でのネットワークが構築され，地域づくりを担う人材育成につながった。

## ⑤ ちいきいきプロジェクト「泉区西部のまち興し〜かむりの里風揚げフェスタ」 ＜泉区中央市民センター＞

泉区中央市民センターと根白石市民センターが連携し、「かむりの里風揚げフェスタ」で地域おこしに取り組みながら、住民自らが、住民同士の結びつきや交流の促進、地域コミュニティの活性化に取り組むことを目指した事業である。

地域の学校や児童館、町内会、商店会などの地域の団体等による企画会議を立ち上げ、各部会に分かれて話し合いや準備を進めた。

当日は、風絵コンクール、風揚げ、豚汁のおふるまいなどで、参加者は晴天に恵まれた冬の休日を楽しみ、実行委員会やスタッフとして携わった地域の諸団体・住民は地域の結束を感じることができた。

- ・5月27日～2月25日（全6回） 実行委員会・部会毎の話し合い（81名参加）
- ・10月14日～12月2日（全6回） 子ども風作り教室（89名参加）
- ・12月5日 かむりの里 風揚げフェスタ（270名参加）

## ⑥「住民参画・問題解決型学習推進事業」にかかる支援及び成果報告会

### ＜生涯学習支援センター＞

各区中央市民センターで実施している本事業の受講者や担当者、地区市民センター職員を対象に、研修会や報告会等を実施することを通して各区中央市民センターの事業推進を支援した。

（ア）方向性を確認する会（H27.4.21 参加者：各区中央市民センター大人事業担当者15名）

生涯学習支援センター・各区中央市民センターの事業担当者を対象に、年度初めに際して、実施計画をもとに意見交換や講師からのアドバイスを獲得の機会を設定することで、事業内容をブラッシュアップするとともに、効果的な事業展開を目指すために実施した。

【講師】水谷 修 氏（東北学院大学 教授）

（イ）住民参画・問題解決型学習推進事業研修会（H27.7.18 参加者：63名）

沖縄県と島根県における先進事例を通して、地域の特性に応じた市民協働によるまちづくりを効果的に推進するための手法を学び、今後の地域づくりや市民センターのあり方について考えることを目的として、研修会を開催した。

《主な内容》

- ・事例紹介Ⅰ： 伝統的豆腐作り「あたいぐわープロジェクト」を通して考える巻き込まれ公民館のしくみ
- ・事例紹介Ⅱ： 「弥栄での暮らしそのものがイザ!」というときの自主防災〜つながってほしいな弥栄今昔物語全3巻〜の取り組み
- ・鼎 談： 地域から信頼され、市民に求められる市民センターとは〜“参画”の先にある姿を目指して〜

【コーディネーター】水谷 修 氏（東北学院大学 教授）

【講師】南 信乃介 氏（特定非営利活動法人 1万人井戸端会議 代表理事）

藤井 礼子 氏（島根県浜田市立安城公民館 主事）

(ウ)中間報告会 (H27. 11. 5 参加者：各区中央市民センター大人事業担当者 16 名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターにおける事業のこれまでの取組状況の報告と今後の予定などの情報の共有化を図り、今後の事業展開の参考とするために実施した。

(エ)成果報告会

(H28. 2. 6 参加者：事業受講者 18 名 社会教育施設職員等 87 名 市民 2 名)

各区中央市民センター事業担当者及び事業受講者、市民センター職員、関係課職員、市民を対象に、各区事業の報告並びに成果と課題等について総括する成果報告会を開催した。事業報告は事業担当者や受講者が行い、コーディネーターや助言者からアドバイスをいただき、次年度事業に向けてのブラッシュアップを図った。

【コーディネーター】水谷 修 氏 (東北学院大学 教授)

【助言者】小地沢 将之 氏 (仙台市公民館運営審議会委員・仙台高等専門学校 准教授)  
草 貴子 氏 (市名坂東町内会 会長)

(オ)事業評価を検討する会

(H28. 3. 8 参加者：各区中央市民センター大人事業担当者 19 名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターにおける事業評価について、仙台市共通の評価基準を検討し、今後の事業展開の参考とするために実施した。

### (3) 子ども参画型社会創造支援事業

子どもたち (小学校中・高学年及び中学生、高校生) が、積極的に地域の中で役割を持ったり、社会の構成員としてまちづくりに参加したりすることで、自分たちの地域の課題に気付き、地域・社会の一員として行動する視点を持つことにより、将来的に地域や社会で主体的に活躍できる人づくりを目的として、平成 23 年度から各区中央市民センターで事業を実施している。

【各区中央市民センターにおける受講者数等一覧】

区	受講者数	受講者延人数	イベント参加者数	受講者内訳
青葉区	3 6	2 0 4	6 0 3	小・中・高校生等
宮城野区	1 9	1 1 0	5 4 0	小学生
若林区	4 0	2 7 3	0	小・中学生
太白区	4 4	4 4 3	0	小学生
泉区	1 1	7 3	2 5 0	小・中学生

#### ① Sendai Aoba Teens Club

##### <青葉区中央市民センター>

小・中・高校生等が、自分たちの興味・関心をもとに市民センターを拠点としたサークル活動を行った。

「SATC 情報部ふぉるていお」は、スポーツボランティアを題材にした番組づくりと「カップダ川ダンス」のビデオクリップを制作した。「食について考えようプロジェクト」は、地



域講師の指導のもと栄養素の摂取と食生活や伝統的な食事などについて実践を通して学んだ。また「カップダ川ダンス部」は、地域に流れる『カップダ川』をテーマにしたダンスを地域行事で披露したり、地域住民とともに踊ったりしながら地域の絆づくりに積極的に取り組んだ。

活動を通して、地域のひと・もの・ことについて理解を深めるとともに、それらを尊重しようとする心情も育ってきている。

## ② 進め！みやぎのキッズもりあげ隊 ～みんなの力で地域を元気にしよう～

### ＜宮城野区中央市民センター＞

2つの地区市民センターと共催で、子どもたち目線でそれぞれの地域を盛り上げる事業。1つ目は、区中央市民センターの原町小児童を対象とした、「原町キッズもりあげ隊」。「交流」と「仲間集め」をテーマに、地域のまつりに遊びのお店を出店し仲間を募ったり、市民センターを会場に子どもから大人までがみんなで楽しく交流できる場を作った。2つ目は、東部市民センターの新田小児童を対象にした、「新田まちづくり子ども計画」。アンケートやワークショップを通して、地域への思いや気になることを引き出し、「あそび」をテーマにした講座を行った。

子どもたちが地域の市民センター等に自分たちの活動拠点を設け、イベント企画や情報収集・発信の活動によって地域とつながり、社会に参画していくきっかけづくりになっていた。

## ③ 子どもボランティア事業 チャイルドボランティア「チャボ！」

### ＜若林区中央市民センター＞

誰かの役に立つことで社会・地域の一員として自分の存在の大切さを体感することができるよう、子どもたちにボランティア活動の機会をつくる事業。対象は当センター近隣の小学4年生～中学生で、平成28年3月現在40名が登録している。地域の団体や施設などの協力を得て、一年を通して月1、2回活動しており、平成27年度は、地域清掃、児童館等の行事の手伝い、被災した農地にヒマワリを植える手伝い、高齢の方に届ける宅配弁当に添える手紙書きなど28回の活動を行った。

## ④ エフエムたいはくキッズ情報局

### ＜太白区中央市民センター＞

4つの地区市民センターと1つの小学校と共催で、それぞれの地域の良さをエフエムたいはくのラジオで発信するという事業。全体会は3回の講座、その他に地区ごとに各4回程度活動した。エフエムたいはくのキッズアナウンサーとして、また、地域のキッズリーダーとして、市民センターや学校を拠点に活動し、活動したことはFM放送で発信した。

地区市民センターを拠点に活動することにより、地域のさまざまな方と交流することができた。また、番組作りを通して、自分たちの地域を学習したり、地域の良さを再発見したりすることができ、地元意識・地域愛につながった。さらに、他の地域との交流を実施することで、自分たちの地域の良さをもっと調べて発信したいという意欲につながった。

ジュニアリーダーと一緒に地域の行事に参加することにより、ジュニアリーダーの頼もしさを感じることができ、ジュニアリーダーを知ってもらう良い機会となった。

## ⑤ アートフルいずみゆめ工房

### ＜泉区中央市民センター＞

小中学生が自分の得意分野を生かし、創作活動を介して地域の活性化を進める企画を立案・実施する事業。講師の先生や東北生活文化大生から学んだことをアート交流活動に生かしている。

27年度は、漫画家の相澤いくえさんを講師に招き、「漫画を描くために大切なこと」について学んだ。泉区中央市民センターまつりでは、「消しゴムはんこワークショップ」のブースを出店し、来場した子どもたちに作り方を教えた。さらに、市名坂小学校での「市小カーニバル」では、お化け屋敷の企画や衣装などの製作、当日の運営にも取り組み、多くの小学生を楽しませることができた。地域の老人ホームに泉区中央市民センターまつりへの招待状を送るなど、高齢者との交流も視野に入れている。

## ⑥ 「子ども参画型社会創造支援事業」にかかる支援及び成果報告会

### ＜生涯学習支援センター＞

各区中央市民センターで実施している本事業の受講者や担当者、地区市民センター職員を対象に、報告会や情報交換会等を実施することを通して各区の事業推進を支援した。

#### (ア)リーフレットの発行

地区市民センター及び仙台市内の小中学校に向けて、子ども参画型社会創造支援事業の啓発のために発行した。1,500部作成し、地区市民センター職員と市内小中学校、高等学校、中等教育学校に配布した。



#### (イ)方向性を確認する会 (H27. 4. 23 参加者：各区中央市民センター子ども事業担当者 16名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターの事業担当者を対象に、年度初めに際して、実施計画をもとに意見交換や講師からのアドバイスをを得る機会を設定することで、事業内容をブラッシュアップするとともに、効果的な事業展開を目指すために実施した。

【講師】 新田 新一郎 氏 ((有)プランニング開 代表)

#### (ウ)石巻・仙台子ども活動交流会 (H27. 8. 20 参加者：事業受講者 20名、事業担当者 8名)

各区中央市民センターにおける「子ども参画型社会創造支援事業」を受講する児童・生徒や事業担当者が、石巻市で子どもセンター「らいつ」の企画や運営に関わっている児童・生徒やその職員との交流を通じて互いの活動について知り、これまでの活動を振り返ることで、今後の活動に対する意欲を高めたり、事業のブラッシュアップを図ることを目的として、交流会を実施した。

**(エ) 中間報告会** (H27. 10. 29 参加者：各区中央市民センター子ども事業担当者 16 名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターにおける事業のこれまでの取組状況の報告と今後の予定などに情報の共有化を図り、今後に事業展開の参考とするために実施した。

**(オ) 成果報告会** (H28. 2. 17 参加者：事業受講者 54 名，社会教育施設職員等 60 名，保護者 56 名，一般市民 14 名)

メディアテークを会場に、各区中央市民センターの子ども事業受講者から、取り組みの様子や、事業を通して自分たちの意識がどう変化したかなどについての発表後、コーディネーターから各区の取り組みの良い点や今後の活動に役立つような助言をいただいた。地区市民センター職員に対しては、本事業への市民センターとしての働きかけや支援の実際について、普及・啓発を図る内容とした。

【コーディネーター】丹治 重廣 氏（仙台市立将監小学校 校長）

**(カ) 事業評価を検討する会** (H28. 3. 8)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターにおける事業評価について、仙台市共通の評価規準を検討し、今後の事業展開の参考とするために実施した。

## **(4) 学習成果社会還元事例研究**

### **◎事業例 まなびごっこ**

＜若林区中央市民センター＞（161 回実施 延参加者：3,578 名）

若林区内で活動する生涯学習指導者ボランティアグループ「まなびごっこ」がこれまでに培った知識や技術を生かして、当センターと共催で誰でも参加しやすい内容の講座・教室（男の料理教室，女性のための囲碁教室，映画上映会など 13 種類）を開催した。

## **(5) その他の生涯学習研究事業**

### **◎事業例 泉区の社会教育を考える会**

＜泉区中央市民センター＞（6 回実施 延参加者：77 名）

区内の社会教育について、区内嘱託社会教育主事と協働し、既存の事業の見直しや、新たな事業方法の研究開発を行った。また、その事業を実施検証し、社会教育事業の新たな展開の可能性を探り、泉区の社会教育事業について活性化を図った。

## 2 広域規模の学習支援

全市・区規模の学習支援，場合によっては複数の区の連携による取り組みを推進する。市政各般の領域に係る施策，市民の課題ニーズを考慮するとともに，地域に濃淡なく生涯学習が行われるよう学習プログラムをつくり，実施する。

### (1) 仙台明治青年大学

#### ＜生涯学習支援センター＞

地区市民センターの老壮大学やシルバーセンターのせんだい豊齢学園を修了した高齢者（61歳以上の仙台市在住者）が学習をさらに深め，豊かな社会生活を営めるよう，学習意欲の向上が図れるような学習会や大学祭などを開催した。本科生として6年間，その後研究生として引き続き籍を置くことができる。平成27年度は新入生75名が入学し，在籍者数は815名となった。

#### 【主な活動】

活 動	活動内容	実施回数	延参加者
学習会	○学習会（18回） 太白区文化センター楽々楽ホールを会場に開催。1回あたりの平均出席者数は567名であった。文化芸能，環境，健康，震災などをテーマに，外部講師を招聘し実施した。 ○対話集会（2回） 「明青大のこれからについて」をテーマに，学生間で意見交換を行った。 ○大学祭（3回） 楽々楽ホール，生涯学習支援センターを会場に実施。サークル団体の活動発表の場となっている。 ○式典（2回） ・入学・開講式 ・修了・閉講式	25	13,032
広報活動	・学生間の情報共有を促進するため，学内広報誌「団欒」を発刊した。 ・文芸誌「老学文苑」を発刊した。	—	—
ボランティア活動	・近隣小学校，児童館で昔遊びや囲碁・将棋，七夕飾り作り等を教えている。 ・近隣中学校で「仙台自分づくり教育」の一環として，キャリア教育の講師を務めた。 ・市民センター事業への協力や外部からの要請にも対応した。 ・学習会の度にワンコイン募金活動を行った。	—	—

## (2)「学都仙台サテライトキャンパス」支援事業

### ＜生涯学習支援センター＞

大学等の高等教育機関の連携組織である「学都仙台コンソーシアム」(平成 18 年設立)のうち「サテライトキャンパス部会」で実施する公開講座「学都仙台サテライトキャンパス」や部会構成校が独自に実施する市民向け公開講座について、市民が円滑に講座を受講できるよう、広報及び情報提供等の支援を行った。

## (3) 秋の子どもの日事業

秋休み期間中の子どもの居場所作りとして、各区中央市民センターで子ども向け事業を実施した。

開催日	主催館名	内容	参加者
10月12日(月)	若林区中央市民センター	秋の子どもの日「ワカチュウ子どもランド」 小学校の秋休みに合わせて、工作、茶道などの体験の場や、遊びのコーナーを提供した。また、児童館の子どもたちの発表やマジックショー、パフォーマンス集団などのステージ発表を実施した。	588

## (4) その他の主な事業

### ① 若い青年教室

#### ＜生涯学習支援センター＞

仙台市内に在住又は勤務している知的障害者青年に対し、仲間づくりや生活上の基本的知識・技能の習得に役立つ活動を展開することを目的として、学習機会を提供する事業を行った。

【昭和 45 年度開設(平成 27 年度：教室生 39 名 9 回実施)】

### ② その他

館名	事業名	内容	開催回数	参加者
青葉区中央市民センター	子どものための日本語講座	日本語を母語としない小学生、中学生に日本語を学習する機会を提供し、充実した学校生活が送れるように支援している。	34	419
	せんだい日本語講座	在仙の外国人等に、日常生活に必要な日本語習得の機会を提供するとともに、日本の伝統文化に触れ交流する場を設定することで、国際交流や多文化理解を促進している。	680	6,676
宮城野区中央市民センター	宮城野学講座	市民企画員を中心に、宮城野の風土や文化について、より広く知られ、後世に継承していけるようにするための講座を年間 5 回開催した。また活動成果をセンターまつり等を通して行った。	5	294

	未来に伝えたい 宮城野の記憶	人々の暮らしやまちの変遷・逸話など、市民の生活を後世に伝える、資料（アーカイブ）づくりにつながる講座を実施する。「あの時の運動会」をテーマに情報を収集・整理し、発表会を行った。	2	13
若林区 中央市民 センター	家庭教育講座	未就学児の保護者、子育てに関心のある方を対象に「子育てのストレスを考える～子どもとの時間を楽しく過ごすために～」と題した講演を大学教授を講師に迎えて実施した。	1	25
	私の地方史研究	主に仙台市内の歴史・民俗を対象とし、文献資料の使い方や有形資料の事実記載などを学んだ。各受講者は、 <b>史資料</b> の使い方は一定程度上達したが、当初目的とした調査報告書の作成までは至らなかった。	10	60
	六郷・七郷を訪ねる会	震災の記憶をとどめるとともに復興を支援するきっかけとしてもらうため、六郷・七郷地域を市民がバスで巡り、地域の状況を見聞きする機会を設けた。	1	40
	バリアフリースポーツ「ボッチャ」普及事業	年齢・性別・障害の有無に関わらず楽しめるスポーツ「ボッチャ」を体験できる場として、月1回の定例会及び年1回の大会を開催した。	12	186
太白区 中央市民 センター	あすと長町地域 活性化事業	太白地区住民を対象に長町秋のフェスティバルと題して「食」・「スポーツ」・「芸術」をキーワードに『なわとび大会・綱引き大会』を行った。さらに、約60店舗余りが集まり『長町マルシェ』を開催した。	1	8,000
泉区中央 市民セン ター	団体長縄跳び競争「第9回みんなでジャンプ！シエルコム大会」	区内の小学生を対象に、冬場の体力づくりと地域間交流、世代間交流を図る目的で長縄跳び大会を開催した。	1	576



### 3 学校・地域連携推進

学校や地域団体等とネットワークをつくり、さまざまな人たちが連携して課題に取り組めるように必要に応じて、つなぎ手、支え手の役割を果たす。

#### (1) 学びのコミュニティづくり推進事業

##### ＜生涯学習支援センター＞

子どもの健やかな育ちを支援するための多様な人間関係を地域に育てることを目的として、PTA、町内会等地域のさまざまな団体が連携して子どもと大人の交流や自然体験、社会体験の機会を提供する事業を実施している。各事業は学校や**市民センター等**が事務局となって行い、学校・家庭・地域社会がそれぞれの教育機能を相乗的に発揮する地域づくりを目指している。

平成 27 年度は 8 団体に対して委託を行った。（平成 13 年度より実施）

また、3 年間の委託が終了した後も 24 団体が現在も自主的に活動を継続している。

《平成 27 年度の委託団体》 8 団体

団体名	区	ねらい・概要	委託状況
森の応援団 愛子ハグリッ ズ	青葉区	地域、学校、PTAが、子どもの森での授業や、親子体験活動をサポートすることで、互いの活性化を図った。【愛子小学校区】	新規
楽コミ金剛沢 おやじっ子推 進委員会	太白区	「大人(おやじ)たち」がこれまで得てきた経験・知恵を出し合って地域・社会の宝である「子どもたち」と一体となる「楽しい活動」を積み重ねることにより、子どもたちと共に学び、豊かな人間関係を築きながら、生き生きとした地域づくりに関わるさまざまな活動を行った。【金剛沢小学校区】	〃
坪沼スポーツ 振興会	太白区	坪沼地区の小学生から大人まで、地区住民全員の体力維持・増進と地域コミュニティの活性化をねらいとして、スポーツに関わる事業を実施した。	〃
未来っこ桂	泉区	委員会を構成する団体のネットワークを活かし、こども対象の体験型の事業を実施し、「桂が故郷」という思いを育み、子どもたちの健やかな成長を支援することをねらいとし、地域内の他団体や個人の理解と賛同を得て、子どもたちの学びをとおした地域コミュニティの広がりを目指した活動を実施した。【桂小学校区】	〃
学コミ「中野 栄楽舎」	宮城野 区	「地域の子どもは宝」をテーマに、地域内の様々な団体が連携してネットワークをつくり、目的を共有しながら、地域全体で子どもたちの健やかな育ちを支援する事業を実施した。【中野栄小学校区】	2 年目
山ガキ隊わく わく学校推進 委員会	太白区	地域のさまざまな学校や団体がネットワークを作り、協力して子どもたちに豊かな体験活動をする場を創出することで、地域と子どもたちのつながりを強め、健全な育成に寄与するような活動を実施した。【上野山小学校区】	〃
袋原中学校区 学びのコミュ ニティ推進員 会	太白区	袋原中学校区を中心として、学校支援地域本部やPTAなど地域の様々な団体が連携し、共通の活動（東中田復興太鼓、ロープジャンプ、陸上教室等）に取り組むことで、地域全体で子ども達の健やかな育ちを支援していくとともに、地域に広範で新たなネットワークづくりを図った。	3 年目
ロングライフ ヒルコミュ ニティ協議会	泉区	地域に存在する各種団体が連携し、地域の宝である子ども達を交えながら、子どもだけでなく大人同士でも輪を築き、地域全体で子ども達の健やかな育ちを支援していく事業を実施した。【長命ヶ丘小学校区】	〃

《委託終了後も自主的に活動を行っている団体》 24 団体

団体名	区	委託終了年度
川平学びのミュージアム	青葉区	平成 26
おいで里ネット	太白区	平成 25
五城学区地域連携教育推進委員会	青葉区	平成 24
福室学びのコミュニティづくり推進委員会	宮城野区	〃
「がんばれ秋保っ子」推進委員会	太白区	〃
チームやかたプロジェクト推進委員会	泉区	〃
カモンレインボープラン推進委員会	泉区	〃
旭ヶ丘わんぱく森 <sup>2</sup> がっこ推進委員会	青葉区	平成 23
上愛子学びのコミュニティづくり推進委員会	青葉区	〃
「西山っ子ニコニコ楽校」	宮城野区	〃
通学合宿連坊実行委員会	若林区	〃
まなびネット「いずみ中山」	泉区	〃
ひがろく おやネット推進委員会	若林区	平成 22
将監こども楽校推進委員会	泉区	〃
まなこみネット鶴が森 II	泉区	平成 21
パパネット南小泉推進委員会	若林区	平成 19
かみすぎねっと	青葉区	平成 18
作並学びのコミュニティ推進事業実行委員会	青葉区	〃
ふれあい学びネットい・ず・み推進委員会	泉区	平成 16
松陵っ子、土っと来い！	泉区	〃
ひろせ山がっこ実行委員会	青葉区	平成 15
まちがっこ推進委員会	青葉区	〃
榴岡かいわい学びのコミュニティ推進委員会	宮城野区	〃
ながまち学びネット推進委員会	太白区	〃

## (2) 学びのコミュニティづくり推進事業支援等

「学びのコミュニティづくり推進事業」の委託団体及び、3 年間の委託期間終了後も自主的に事業を実施している団体に対して、活動支援を行った。

【平成 27 年度に市民センターが関わった主な事業（委託期間中の事業）】

館名・事業名	概要	実施回数	延参加者
宮城野区中央市民センター			
中野栄地区学びのコミュニティ推進事業推進委員会（中野栄学舎）	中野栄小学校区の各団体や市民センター等と連携し、地域における子供たちの学びを支援する仕組みを作ることを目的に、自然体験、社会体験を実施した。 ・ 7 月 18 日（土）E ボートに乗ってみよう（参加者 58 名） ・ 1 月 9 日（土）昔あそび&おしるこ会（参加者 82 名）	7	200

【委託終了後の事業に対する継続的支援等】

館名・事業名	概要	実施回数	延参加者
青葉区中央市民センター			
旭ヶ丘わんぱく森 <sup>2</sup> がっこ	旭ヶ丘小学区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・ 森 <sup>2</sup> ファーム、旭ヶ丘ホテルまつり参加、旭ヶ丘夏まつり参加、森 <sup>2</sup> デイキャンプ ほか	12	170



かみすぎねつと	上杉山通小学校区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・おもしろ子ども会、Gakkou へ泊まろう ほか	4	80
まちがっこ	東二番丁小学校・幼稚園をはじめ、青葉区中央市民センター周辺の関係団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・花のあるまちづくり、どろんこ遊びをしよう！ほか	3	150
ひろせ山がっこ	広瀬小学校区、愛子小学校区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・学校に泊まろう！、宮城地区まつり	2	340
川平学びのミュージアム	川平小学校区の学校関係団体・地域団体との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・白菜ミュージアム、親子ふれあいワクワクキャンプ、リバーフラットフェスティバルほか	8	120
宮城野区中央市民センター			
榴岡かいわい学びのコミュニティづくり推進事業	仙台駅東口かいわいの幼児、小学生を対象として遊びの広場を提供した。また、地域の住民や中学生、ボランティア等の参加も促し、異世代間の交流を図った。 ・8月30日 第14回つつじがおかワイワイ夏まつり ・1月23日 第9回つつじがおかワイワイ冬まつり	9	990
若林区中央市民センター			
南小泉子どものふるさとづくり推進事業	学びのコミュニティづくり推進事業で立ち上げた「南小泉パパネット」が南小泉小学校の児童や保護者を対象に実施する事業への支援を行った。 ・7月25日 なつなつ南小 ・2月20日 ふゆふゆ南小	2	233
区内小学校合宿等支援	学びのコミュニティづくり推進事業から続く「通学合宿！連坊！」など区内小学校の合宿等の事業を支援した。 ・7月25～26日 学校に泊まろう会（六郷小） ・7月25～26日 学校に泊まろう会（大和小） ・8月8～9日 キャンプ in 南材（南材木町小） ・10月7～9日 通学合宿！連坊！（連坊小路小）	4	320
若林小あそび場支援	若林小学校を中心に放課後の児童に小さな冒険を秘めた遊びの場をつくる「若林小あそび場」の活動（概ね月1回開催）を、関係団体、若林児童館、若林市民センター、ボランティアとともに支援した。	12	1,130
太白区中央市民センター			
秋保地区学びのコミュニティ推進事業推進委員会（がんばれ秋保っ子）	秋保中学校区の各団体と協力して事業を実施することで地域全体で子どもを育てていくきっかけをつかった。 ・1月9日 秋保カルタ大会（参加者76名） ・秋保地区行事カレンダー作成	6	181

生出地区学びのコミュニティ推進事業推進委員会（おいで里ネット）	子どもの9年間の育ちを地域とともに支えることを目標に、生出中学校区を活動エリアとして小中3校・同PTA・太白区中央市民センターを中心に設立。平成27年度は子ども達が地域住民とともに学ぶ機会として下記の事業を実施した。 ・おいでサマーキャンプ (参加者65名：生出小)	5	113
ながまち学びネット	長町中学校区（長町小・長町南小・鹿野小学校区）内児童・生徒や保護者、地域住民とともに、子どもたちの健全育成を目的とした参加体験型の活動を行い、地域コミュニティを深めていく。 ・7月29日 こども防災キャンプ(参加者110名)	8	280
泉区中央市民センター			
区内学コミ連絡会	区内で活動している各学コミ委員会と情報を共有し、学コミの活動の促進ならびに拡大を図った。 ・6月13日 第1回連絡会（年間計画、情報交換） ・12月12日 第2回連絡会 (講話「仙台市の子どもたちと親の現状と学コミの可能性」 講師 松坂 宏造 氏)	2	32
ふれあい学びネットい・ず・み推進委員会	七北田中学校区内の諸団体が連携し、青少年健全育成事業の展開を図るとともに、子どもの居場所づくり事業について協議、企画、実施した。 ・7月31日～8月1日 キャンプだホイ!2015in 七北田 ・10月17日 七小ゆめフェスティバル ・10月24日 いずちゅう☆子ども縁日&屋台 ・12月 5日 市小カーニバル ・2月21日 あそびの天国2016	18	294
		1	205
		1	321
		1	330
		1	320
		1	480
学びのコミュニティ支援事業（南中山編）	南中山市民センターが核となった『まなびネット「いずみ中山」』を支援。推進委員会を毎月1回開催した。 ・7月21日 支倉川川遊び ・12月21日 門松づくり	12	108
		1	102
		1	51

### (3) 嘱託社会教育主事研究協議会区部会との共催事業

嘱託社会教育主事（社会教育主事資格を持ち学校に在籍している教員）研究協議会の各区部会と各区中央市民センターの共催による事業を通して、子ども達の健全育成や地域コミュニティの活性化を図り、地域で子どもを育てる環境づくりを推進した。

館名	内容	実施回数	参加者
青葉区中央市民センター	7月2日 青葉区社会教育推進連絡会研修会 7月5日 ジュニアリーダー初級研修会 8月23日 ジュニアリーダーとの交流会研修会 「青葉チャレンジJL in 博物館」 9月6日 子ども会対象事業 「青葉チャレンジキッズ in 科学館」 11月21日 脳トレーニングで 笑顔UP ～親子いっしょに脳を輝かせ 明るく笑顔あふれる家庭づくり～	5	280
宮城野区中央市民センター	8月2日 宮城野区ジュニアリーダー 初級研修会・交流会 9月5日 「七北田川でEボートに乗ろう」 11月20日 嘱託社会教育主事・地域連携担当職員・市民センター職員研修会 12月19日 インリーダー研修会事前打合せ会 1月～2月 インリーダー研修会	4	約 600
若林区中央市民センター	11月21日 ものづくり体験教室 (クッキーづくり, 農家レストラン料理, 生け花づくり, 染め物づくり, 革細工づくり) 11月18日 学校と連携したまちづくり市民会議 12月13日 ジュニアリーダー初級研修会 1月9日 インリーダー研修会事前打合せ兼 研修会 2月 インリーダー研修会	9	582
太白区中央市民センター	6月 5日 第1回太白区内地域連携ネットワーク 会議 6月20日 秋保インリーダー研修会 7月4日 ジュニアリーダー初級研修会 7月24日 第2回太白区内地域連携ネットワーク 会議 6月～1月 太白区内地域連携ネットワーク事業 地区ごと 20 実施 11月3日 長町秋のフェスティバル (協力事業) 12月12日 インリーダー研修会事前打合せ会 1月29日 第3回太白区内地域連携ネットワーク 会議 1月～2月 インリーダー研修会	173	約 7,000
泉区中央市民センター	6月20日 嘱託社教・市民センター合同研修会 7月25日・8月16日 親子で根白石化石ホリダー 10月31日 親子で大学たんけん 11月26日 ブロック別地域連絡会 (中止) 11月29日 泉区ジュニアリーダー初級研修会 1月16日 第9回みんなでジャンプ	7	772

### (4) 地域コーディネーターリーダー研修

#### <生涯学習支援センター>

子どもを育む地域力を高める視点に立ち、地域内のコミュニケーションやネットワークの活

性化を目指し、地域で核となる人材を育成する事業。実際に地域で活躍している市民（企画員）との協働により研修内容を企画・実施した。

平成 27 年度の実施状況は下記のとおりである。

（ア）第 1 回地域コーディネーターリーダー研修会（H27.10.16 受講者 77 名）

・講演「地域を活かす力について」

【講師】 野澤 令照 氏（宮城教育大学教育復興支援センター 副センター長）

・情報交換

（イ）第 2 回地域コーディネーターリーダー研修会（H27.12.18 受講者 46 名）

・グループ協議・発表（地域連携や地域課題解決等についての悩み事や困りごと等）

（ウ）第 3 回地域コーディネーターリーダー研修会（H28.1.22 受講者 34 名）

・グループ協議・発表（地域の現状把握，理想の地域にするための方法の検討等）

（エ）第 4 回地域コーディネーターリーダー研修会（H28.2.25 受講者 27 名）

・グループ協議・発表

（28 年度に向けて，子どもを育む地域力を高めるための構想案の作成）

（オ）地域コーディネーターリーダー研修会企画委員会（全 4 回 延参加者 21 名）

・研修会の方向性や内容の検討

## （５）高等学校開放講座

### ＜生涯学習支援センター＞

仙台市立高等学校の持つ施設や人材を活用して，各校が特色ある市民向け講座を実施した。

学校名	講座名	内容	実施日	申込者	受講者
仙台工業 高校	夏休みにチャレン ジ！～工業高校もの づくり体験～	機械科の鋳造の実習を体験 し，ものづくりの楽しさを 実感する	8 月 1 日（土） 8 月 2 日（日）	10	7
仙台大志 高校	簿記入門	簿記の初歩（日商簿記 4 級 程度）を学習し，町内会や NPO の会計に役立てる	8 月 4 日（火） ～8 月 6 日（木）	10	8
仙 台 青 陵 中 等 教 育 学 校	仙台の魅力を英語で 発信 Part. II	仙台を知り，世界へ向けて 仙台の魅力を英語で発信す るための方法を学び，実演 する	10 月 29（木） 11 月 5 日（木）	21	18
仙台高校	高校数学再発見～日 常生活から振り返る 「高校数学」～	社会生活に関連する高校数 学のトピックを取り上げる。 また，タブレット端末 による教科書を体験する	11 月 21（土） 11 月 28（土）	8	5
仙台商業 高校	表計算入門『エクセル 2013 基礎講座』	表計算ソフト（エクセル 2013）を基礎から学ぶ	12 月 12（土） 12 月 13（日）	90	30

## 4 学習情報収集・提供事業

地区市民センターが収集している地域情報を含め、広く情報を集積し、多様な媒体に整理・保管し、広く市民が活用できるよう公開する。

### (1) 学習情報レファレンスシステム・市民センターホームページの運営

#### ＜生涯学習支援センター＞

市民の学習意欲に応え、的確な情報提供サービスを展開することで、効果的に市民の学習活動を支援するため、生涯学習支援センターと市民センターをインターネット回線で結び、生涯学習に関するより新しい情報を提供するとともに、市民の学習相談に応じることを目的として平成12年3月より運営している。

平成26年11月にシステム機器を更新し、新たな「市民センターホームページ」と「学習情報データベース」の運用を開始した。新たなホームページでは、各市民センターの情報を統合して表示したり、講座の開催日を検索しやすくするなどの手法により、市民により分かりやすいページ構成とした。

市民センターホームページの URL <http://www.sendai-shimincenter.jp>

#### 【平成27年度末 仙台市学習情報レファレンスシステム登録情報数】

情報種類	平成27年度末現在
団体・サークル情報	2,664
人材・講師	10,684
事業	2,416
合計	15,764

#### 【平成27年度 市民センターホームページアクセス件数】

閲覧ページ数	750,265	一日あたりの閲覧数	2,055
概算訪問者数	517,512	一日あたりの訪問者数	1,418

#### 仙台市市民センター

▶ 仙台市公式ウェブサイト ▶ 仙台市教育委員会

▶ サイトマップ Google カスタム検索



## (2) 市民センター事業ガイド

### ＜生涯学習支援センター＞

講座等参加者の募集中，募集予定がある事業について，区ごとにまとめ，毎月 1 回発行して，市民への情報提供を行った。

## (3) その他の学習情報提供事業

館名	事業名	概要	実施日等
若林区中央市民センター	若林区の映像保存・活用事業	震災からの復興の様子や豊かな自然，地下鉄東西線開業に向けて変化する街の様子などをボランティアが撮影し，市政だよりの若林区のお知らせのページに「若林の新風景」として掲載したほか，これらの写真のパネル展示を区役所などで開催した。	通年
	震災メモリアルイベント「未来に伝えるふるさとの記憶」	平成 25 年度に作成した震災被災者の体験記録集「語り継ぐ震災の記憶」に新たに聞き取りした内容を加えて制作した朗読劇の上演，及び沿岸部で被災して統合が予定されている荒浜小学校及び東六郷小学校の児童による舞台発表を行った。 (仙台防災未来フォーラム関連事業)	3 月 6 日

## 5 人材育成

### (1) 職員研修

#### ＜生涯学習支援センター＞

市民センター等の社会教育施設職員を対象に，社会の変化や市民のニーズに対応しながら，積極的に市民及び地域と連携するために必要な専門性やコーディネート力などの向上を図る研修を実施した。

#### 【研修内容】

研修名	受講対象	概 要	受講者
生涯学習基礎研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民センター職員</li> <li>・他の社会教育施設職員</li> <li>・関係課職員</li> </ul>	<b>第1回「社会教育施設新任職員研修」</b> 6月2日（火） ◎講話1「社会教育施設職員に求められるもの」 東北大学大学院教授 高橋 満 氏 ◎講話2「仙台市の社会教育・生涯学習について」 仙台市教育局生涯学習課長 奥山 健一 氏 ◎事例紹介 「市民の学びを支えるために～参加・空間・資源・協働～」 仙台市科学館主任指導主事 菅井 研二 氏 仙台市博物館指導主事 山澤 一郎 氏 ◎グループワーク 等	55
		<b>第2回「学びの連携～仙台市天文台見学～」</b> 6月26日（金） ◎施設見学「仙台市天文台の概要～施設編～」 ◎講話 「仙台市天文台の概要～事業編～」 仙台市天文台副台長 小野寺 正己 氏	60
		<b>第3回「若者との協働で社会教育施設の活性化」</b> 9月9日（水） ◎講話等「ヨコハマハコ入りムスメプロジェクトについて」 特定非営利活動法人ハナラボ代表理事 角 めぐみ 氏 ◎意見交換等	45
		<b>第4回「社会教育の現代的な役割」</b> 10月1日（木） ◎講話等「「社会」をつくる学び-社会教育の現代的役割-」 東京大学大学院教授 牧野 篤 氏 ◎意見交換等	35
		<b>第5回「学校・地域の連携」</b> 10月27日（火） ◎講話「教育改革が進行する中で，学校・地域の連携と社会教育施設の役割を考える」 青森中央学院大学教授 高橋 興 氏 ◎事例発表「学校と市民センター協働の事業づくり～中田七夕まつりの実践をとおして～」 仙台市立中田小学校教諭 加藤 陽介 氏 仙台市立中田中学校主幹教諭 永沼 孝敏 氏 中田市民センター事業職員 安田 千佳 氏 ◎意見交換等	233

市民センター 新任職員研修	・市民センタ ー職員 ・関係課職員	4月22日(水) ◎講話1「新任職員への期待」 東北学院大学教授 水谷 修 氏 ◎講話2「市民センターの概要」※ ◎講話3「学習情報提供・相談と学習情報の発信について」※ ◎講話4「ジュニアリーダーの活動について」※ ◎グループワーク(研修内容の振り返り)※ ※生涯学習支援センター職員が担当	44
市民センター 館長研修	・市民センタ ー館長	7月30日(木) ◎講話「地域課題とその解決方法を考える ～コミュニティビジネスの可能性～」 宮城大学教授 風見 正三 氏 ◎グループワーク	59
社会教育の推 進にかかる研 修	・生涯学習支 援センター、 各区中央市 民センター 等に所属す る社会教育 主事等の教 育局職員	<b>第1回</b> 5月22日(金) ◎講話1「現代社会における社会教育の役割と課題」 宮城教育大学教職大学院教授 梨本 雄太郎 氏 ◎講話2「仙台市における社会教育について」 仙台市教育局生涯学習課主幹 相澤 文典 氏 主査 高橋 一誠 氏	14
		<b>第2回</b> 11月17日(火) ◎事業評価についての意見交換等 特定非営利活動法人教育支援協会代表理事 吉田 博彦 氏	14
生涯学習応用 研修～スキル アップ研修～	・市民センタ ー職員 ・他の社会教 育施設職員 ・関係課職員	<b>第1回「プレゼンテーション研修」</b> 5月28日(木) ◎講話とグループワーク 「分かりやすく伝えるためのプレゼンテーション」 ハリウコミュニケーション(株)連携推進室長 遠藤 真吾 氏	24
		<b>第2回「事業(講座)づくり研修」</b> 7月15日(水) ◎講話とグループワーク 「事業(講座)企画のアイデア研修～事業(講座)づく りが楽しくなるアイデアの出し方・練り方～」 アイデアプラント代表 石井 力重 氏	38
		<b>第3回「効果的な情報発信研修」</b> 9月17日(木) ◎講話とグループワーク 「効果的な情報発信の知恵～ちらしを使った情報発信の工 夫例など～」 仙台市市民活動サポートセンター 菅野 祥子 氏 松村 翔子 氏 葛西 淳子 氏	56
		<b>第4回「ファシリテーション研修」</b> 11月18日(水) ◎講話とグループワーク 「ファシリテーションのための知識と実践」 特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク 代表理事 伊勢 みゆき 氏	14



生涯学習応用 研修～現代的 課題対応研修～	・市民センタ ー職員 ・他の社会教 育施設職員 ・関係課職員	<b>第1回「多文化共生研修」</b> 6月17日（水） ◎講話「仙台市における国際化の概説」 ◎グループワーク 「レヌカの学び」 ◎外国人ゲスト6名によるパネルトーク ◎グループワーク「多文化防災ワークショップ」 ◎やさしい日本語と来館者対応に役立つ英語 （公財）仙台観光国際協会 菊池 哲佳 氏 （公財）仙台観光国際協会 堀野 正浩 氏 仙台市国際交流員 デイビッド・ドノヴァン 氏 他 留学生等 5名	35
		<b>第2回「男女共同参画研修」</b> 7月29日（水） ◎講話とグループワーク 「多様性配慮の視点を社会教育に活かすために」 （公財）せんだい男女共同参画財団 管理事業係長 牛井 渕 展子 氏 阿部 若菜 氏	13
		<b>第3回「多様性への配慮」</b> 12月3日（木） ◎講話とグループワーク 「発達障害の理解と支援～身近な理解者になるために～」 特定非営利活動法人自閉症ピアリンクセンターここねっと センター長 黒澤 哲 氏	42
生涯学習応用 研修～市民協 働研修～	・市民センタ ー職員 ・他の社会教 育施設職員 ・関係課職員	<b>第1回「市民協働の本質を深めよう～社会教育の意義と役割～」</b> 12月11日（金） ◎講話とグループワーク 「市民協働の本質を深めよう ～社会教育の意義と役割～」 宇都宮大学 地域連携教育研究センター 准教授 佐々木 英和 氏	22
		<b>第2回「NPO活動との連携から地域づくりを考える」</b> 1月20日（水） ◎講話とグループワーク 仙台市市民活動センターセンター長 菊地 竜生 氏	12
事例発表研究 研修	・市民センタ ー職員 ・関係課職員	2月26日（金） ◎事例発表 「てらまちフェスタ 2015—遊びでつながるまちづくり—」 柏木市民センター 「大沢・川前地域交流ネット あがれ！天旗」 大沢市民センター 「生出かかしまつりコンテスト 2015」 生出市民センター ◎グループワーク・総括 東北学院大学教授 水谷 修 氏	58

## (2) 学びのまち仙台市民力レジット事業

### ＜生涯学習支援センター＞

本市における生涯学習の支援拠点として、全市域の市民を対象に、社会ニーズや現代的課題に対応した専門的で質の高い学習の機会を創出することで、学びを通じた市民力の育成を目指すとともに、学習成果が地域や社会に還元されるような仕組みづくりを進めた。

### ① 「地域づくり支援講座」

市民を対象に、市内外における先進事例の紹介や視察、講演等からなる講座を企画・実施し、地域づくりに必要な知識やスキルを習得するための、より専門的な学習機会を提供することにより、地域づくりを牽引する人材育成をめざした。

#### 【学習内容】

回	日 時	概 要	受講者
1	7月1日(水) 18:30～20:30	◎開講式 ◎講話「地域づくりを楽しもう!」 せんだい泉エフエム放送株式会社 取締役事業部長 阿部 清人 氏 ◎グループワーク(自己紹介等) ※以降、毎回のナビゲーターは、阿部 清人 氏	13
2	8月5日(水) 18:30～20:30	◎講話「若い力と協働しよう」 東北福祉大学 学生生活支援センター ボランティア支援課 コーディネーター 渡辺 信也 氏 ◎事例発表 高森東連合町内会 防災委員 佐藤 亜矢子 氏	14
3	9月5日(土) 13:30～17:00	◎施設見学 仙台うみの杜水族館 ◎事例紹介「被災地支援と水族館、ソーシャルビジネスの可能性」 株式会社 ソノベ 地域未来デザイン事業部 部長 川村 力 氏 エディター 湯田 陽子 氏	10
4	10月7日(水) 18:30～20:30	◎講話とワーク「ファシリテーションを学ぼう」 特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会 東北スクエア 世話人 中西 百合 氏	12
5	11月11日(水) 18:30～20:30	◎講話「企業から見た地域づくり」 公益社団法人 仙台青年会議所 理事長 金ヶ崎 政伸 氏 ◎意見交換	15
6	12月2日(水) 18:30～20:30	◎講話「町内会の可能性」 福住町 町内会 会長 菅原 康雄 氏 ◎意見交換	11
7	1月6日(水) 18:30～20:30	◎講話「七の川の活動と助成金活用の事例」 七北田小学校親の会 七の川 代表 佐竹 洋一 氏 ◎講話「助成金とは何か?～資金を提供する側から～」 公益財団法人 地域創造基金さなぶり チーフ・プログラムオフィサー 鈴木 祐司 氏	11
8	2月10日(水) 18:30～20:30	◎ワーク「これまでの学びのふりかえりと今後の抱負」 せんだい泉エフエム放送株式会社 取締役事業部長 阿部 清人 氏 ◎閉講式	11

### ② 「仙台再発見リレー講座」

市民を対象に、「わがまち仙台」をテーマとして、歴史、産業、食、文化、まちづくり等の視点から学びを広げ、地域の魅力に改めて気づくとともに、今後の発展に自分なりの考えをもつことができるような講座を実施することで、地域づくりに関わろうとする新たな人材の発掘や、そのような市民層の拡大を目指した。

### 【学習内容】

回	日 時	概 要	受講者
1	6 月 13 日 (土) 14 : 00～16 : 00	◎講話「仙台弁からみる仙台の魅力」 東北放送株式会社 ラジオ局長 藤沢 智子 氏 ◎対談「わがまち仙台の魅力」 東北放送株式会社 ラジオ局長 藤沢 智子 氏 せんだい泉エフエム放送株式会社 取締役事業部長 阿部 清人 氏	46
2	6 月 27 日 (土) 14 : 00～16 : 00	◎講話「仙台のまちなみとまちづくり」 特定非営利活動法人 コミュニティ 代表理事 小地沢 将之 氏	33
3	7 月 25 日 (土) 14 : 00～16 : 00	◎講話「食を通じた地域づくり」 宮城学院女子大学 教授 平本 福子 氏	35
4	8 月 1 日 (土) 14 : 00～16 : 00	◎講話「仙台の偉人・歴史から地域を学ぶ」 特定非営利活動法人 仙台城ガイドボランティア会 元理事長 小林 眞勝 氏	30
5	8 月 29 日 (土) 14 : 00～16 : 00	◎講話「産業界から見た仙台～地域連携で世界をめざす～」 東北大学教授 堀切川 一男 氏	31

### ③ 「学び直し」講座

就業に関する世代ごとに抱える課題解決を支援するため、社会教育施設として就業に必要なスキルを向上させるための効果的な学習支援を行った。

**○女性向け就労準備講座** 「働く「わたし」をイメージ～になりたい自分に近づくために～」

対象：2～3年後、子どもが就園・就学等をしたら働きたいと考えている現在子育て中の女性

場所：生涯学習支援センター 第2セミナー室

### 【学習内容】

回	開催日	概 要	受講者
1	6 月 2 日 (火)	◎講話とワーク「わたしにとって“働く”ということ」 (公財) せんだい男女共同参画財団 事業管理係長 牛井 渕 展子 氏	11
2	6 月 16 日 (火)	◎ワーク「職場で役立つコミュニケーション」 ～効果抜群！自分と仲良くなるメンタルコントロール法について～ ドリームフィールド代表 阿部 侑生 氏	11
3	6 月 30 日 (火)	◎講話「働くための準備ポイント」 マザーズハローワーク青葉 職業指導官 伊東 幸輝 氏	12
4	7 月 14 日 (火)	◎講話「先輩ママの話」 子育てをしながら働いている女性 3 名との対話 ファシリテーター：のびすく仙台館長 伊藤 仟佐子 氏	9

## ○若者向け就労支援講座 「若者の困難を考える～私たち周りの人ができること」

対象：不問（就学・就労していない，概ね10代後半～20代の方及びその家族等）

場所：生涯学習支援センター 第2セミナー室

### 【学習内容】

回	開催日	概 要	受講者
1	2月28日(日)	◎講話「生きづらさを抱える若者たち」 仙台大学学長・元仙台市教育長 阿部 芳吉 氏	57
2	3月6日(日)	◎講話「ひきこもりやニートを理解する」 仙台市ひきこもり地域支援センター ほわっと・わたげ 精神保健福祉士 秋田 麻美子 氏	44
3	3月13日(日)	◎講話「発達障害を理解する」 特定非営利活動法人 自閉症ピアリンクセンター ここねっと センター長 黒澤 哲 氏	54

## ④ 生涯学習に係る連携・協力の推進

中央教育審議会による答申（ネットワーク型行政の推進等）及び震災復興等の社会的要請，市民ニーズの多様化などを踏まえ，本市における生涯学習支援をさらに充実させるために，大学等高等教育機関，民間企業，各種団体，行政各課等との連携・協力の推進やそのあり方等について有識者との意見交換会を行った。

### 【意見交換等調査研究】

日 時	概 要
3月15日(火) 15:00～17:00	<p>&lt;意見交換会参加者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東北大学大学院教育学研究科 准教授 石井山 竜平 氏</li> <li>・せんだい泉エフエム放送株式会社 取締役事業部長 阿部 清人 氏</li> <li>・仙台市市民活動サポートセンター センター長 菊地 竜生 氏</li> <li>・(公財)男女共同参画財団 エルソーラ仙台 管理事業課長 渡邊 ひろみ 氏</li> <li>・(公財)仙台観光国際協会 国際化事業部国際化推進課企画係 主任 菊池 哲佳 氏</li> </ul>

## (3) ボランティア養成等人材育成事業

### ① 託児ボランティア養成

#### <生涯学習支援センター>

「いつでも」「どこでも」「誰でも」学習できる「学びのバリアフリー事業」の一環として，子育て中の保護者が安心して学習できるように講座に託児を付設している。

託児付き事業の託児室は，市民参画による市民のためのものとしてボランティアによる主体的な運営を前提としており，その中で活躍する託児ボランティアを支援するとともに，新たな託児ボランティアの養成・育成のための事業を実施した。

【研修内容】

事業名	内容	開催日	延受講者
託児ボランティア養成講座	託児ボランティアとしての活動に必要な知識や技術を学んだ。 ・オリエンテーション 「託児ボランティア活動について」 ・講話「子どもを取り巻く環境①遊びと発達」 講師：仙台市向山保育所保育士 ・移動学習「子どもを取り巻く環境②保育所見学」 仙台市向山保育所見学 ・講話「子どもの病気と怪我」 講師：宮城野区家庭健康課保健師 ・話し合い、実技「これからの活動に向けて」	10月1日 10月8日 10月15日 10月22日 10月29日	28
託児ボランティアフォローアップ研修	より質の高い託児室運営のため、託児ボランティアの資質や技術向上に役立つ研修を実施した。 ・乳幼児の応急手当 講師：日本赤十字社宮城県支部 ボランティア指導員 山田 元子 氏	12月1日	46
託児ボランティア活動支援 (連絡会・調整会の開催)	市民センターで活動する託児ボランティアに対し、連絡会、託児調整会等の開催により、日常の活動を支援した。	5月12日 10月6日 3月8日	92

【託児ボランティアグループ一覧】（平成28年3月現在）

グループ名	設立年月日	最寄の市民センター	会員数
さくらんぼ	H14.5.8	木町通市民センター	5
ひまわり	H9.8.1	水の森市民センター	8
プーさん	H3.1.1	水の森市民センター	4
ポッケの会	H2.3.25	広瀬市民センター	5
アリスの会	H5.7	生涯学習支援センター	4
にんじん	S59.7.9	東部市民センター	4
ハイジ	H22.4	若林区中央市民センター	10
クリップ	H9.4.1	六郷市民センター	11
でんでんむし	H12.3.22	東中田市民センター	9
こんぺいとう	H7.10.1	茂庭台市民センター	3
たんぼぼ	H4	富沢市民センター	10
キャンディ	H22.4	南光台市民センター	5
ちゅうりっぷ	H13.3.14	泉区中央市民センター	13
てっての会	H6.4	寺岡市民センター	7
合計 14 グループ / 会員数 98 名			

## ② 図書ボランティア活動支援

### ＜生涯学習支援センター＞

市民センター併設の図書室（47 館）のうち 29 館の図書室では、市民ボランティアの協力により図書の貸し出し等の運営を行っている。

その図書ボランティアの活動を支援するためのスキルアップ研修を実施した。

#### 【研修内容】

事業名	内容	開催日	受講者
図書ボランティア スキルアップ研修	「魅力的な図書室づくり」 講師：榴岡図書館 司書 橋本 奈津美 氏 司書 藤渕 陽子 氏	12 月 16 日	35

#### 【図書ボランティア一覧】（平成 27 年 7 月現在）

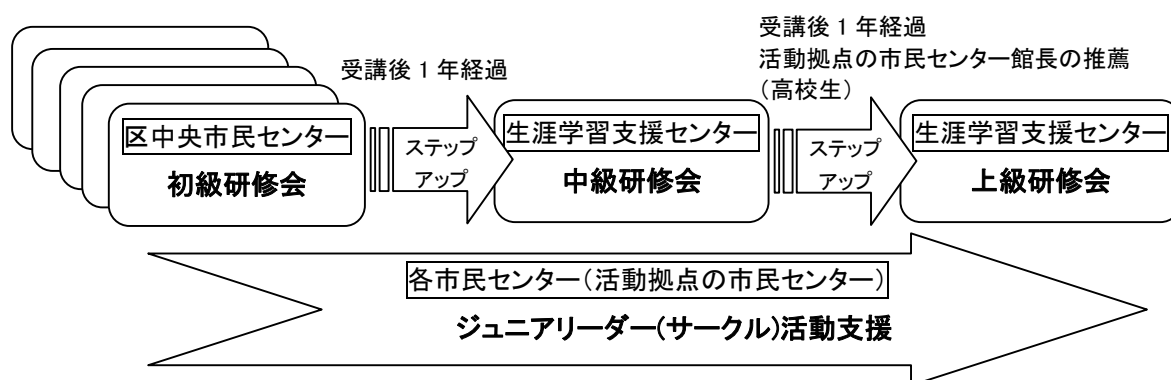
グループ名	活動館	会員数
さくらさくら	北山市民センター	11
カンナの会	福沢市民センター	11
図書ボランティアぽけっと	三本松市民センター	15
葉の会	落合市民センター	13
（個人登録）	片平市民センター	6
（グループ名なし）	水の森市民センター	19
ひまわり	貝ヶ森市民センター	9
（個人登録）	中山市民センター	8
コスモス文庫	大沢市民センター	14
図書ボランティアたんぽぽ	吉成市民センター	10
図書ボランティア	木町通市民センター	8
しおりの会	岩切市民センター	9
おはなしこぶた	岩切市民センター	3
（グループ名なし）	田子市民センター	6
ターンぽっぽ	東部市民センター	8
かすみそう	高砂市民センター	6
図書ボランティアサークル「ひまわり」	幸町市民センター	8
図書ボランティアみちくさ	荒町市民センター	10
（個人登録）	七郷市民センター	9
（個人登録）	沖野市民センター	8
ブックスフレンド中田	中田市民センター	16
八木山図書ボランティア委員会	八木山市民センター	32
図書ボランティア縄文	山田市民センター	7
富沢市民センター図書ボランティアの会	富沢市民センター	28
（個人登録）	東中田市民センター	7
茂庭台図書ボランティア	茂庭台市民センター	12
図書ボランティア	西多賀市民センター	10
図書ボランティアコスモス	八本松市民センター	8
ブックポケット	柳生市民センター	4
松森市民センター図書ボランティア	松森市民センター	9
ボランティア数計 324 名		

### ③ ジュニアリーダー育成・支援

ジュニアリーダーとは、青少年ボランティア活動の一環として、仙台市教育委員会の支援を受け各市民センターを拠点として活動している中学生・高校生である。

ジュニアリーダーの主な活動内容は、地域の子ども会活動を活性化するための支援であり、このような活動を通して、地域全体の活性化に貢献している。また、子どもを対象としたイベントの企画・実施やその他のボランティア活動にも積極的に取り組んでおり、こうした活動が、ジュニアリーダー自身の人格形成にも役立っている。

ジュニアリーダーを育成するために、各区中央市民センターにおいて初心者を対象とした初級研修会、生涯学習支援センターにおいてステップアップ研修となる中級研修会・上級研修会を実施している。さらに、ジュニアリーダーの活動の拠点となっている市民センターにおいては、活動の支援や、ジュニアリーダーを指導者とした事業を行っている。



市民センター全体を通して、ジュニアリーダー一人ひとりが段階的に認定を受けながら、子ども会活動全般についての専門的な知識や技能を身に付け、自覚と責任を持って活動できるように支援し、さらに地域とのつながりの中で活動するジュニアリーダーを支援することによって、子ども会をはじめとする地域の活動を活性化している。

#### 【ジュニアリーダーサークルの主な活動】

自主企画（ジュニアと遊ぼう、交流会など）、定例会及び連絡会、各種研修会  
子ども会、市民センター、その他の機関からの要請による活動

- ・子ども会行事の実施及び企画の補助
- ・区民まつりへの参加
- ・市民センター事業への補助
- ・児童館行事のスタッフ など

#### ○ジュニアリーダー初級研修会

各区中央市民センターを会場に、新たにジュニアリーダーを志す中学生・高校生に対し、青少年のボランティア活動を通して、地域の子ども会活動の活性化を図るために必要な基本的な知識と技術を習得する機会を提供した。

また、区内のジュニアリーダー相互と、新たにジュニアリーダーに加わる受講生との親睦を図り、今後の活動への意欲を高めた。

主催館名	開催日	受講者
青葉区中央市民センター	7月5日(日)	48
宮城野区中央市民センター	8月2日(日)	34
若林区中央市民センター	12月13日(日)	26
太白区中央市民センター	7月4日(土)	53
泉区中央市民センター	11月29日(日)	39

## ○ジュニアリーダー中級研修会

＜生涯学習支援センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

地域の子ども会の活性化と青少年のボランティア活動を積極的に推進するため、初級研修会を修了し、引き続きジュニアリーダーとして活動を行っている中学生及び高校生で、活動拠点となる市民センターの推薦を受けた者を対象に、より高度な知識と技術を習得するための研修を行った。

○8月4日(火), 5日(水) 受講者：59名(会場：生涯学習支援センター)

- ・研修1「ジュニアリーダーに必要なものとは？」
- ・研修2「要請の受け方」
- ・研修3「子どもを引き付けるコツ」
- ・研修4「要請のプログラムを作成しよう」
- ・研修5「要請のプログラムを実践しよう」

## ○ジュニアリーダー上級研修会

＜生涯学習支援センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

青少年のボランティア活動と地域の子ども会活動の一層の振興を図るために、仙台市ジュニアリーダー全体をまとめ、リードする立場に立つべき高校生ジュニアリーダーの資質向上と技能の研鑽のための研修を行った。

対象者は、中級研修会を修了し、引き続きジュニアリーダーとして活動を行っている高校生又は高校生の年齢に相当する者で、かつ活動実績・資質ともに上級リーダーとして適格であり、活動拠点となる市民センターの推薦を受けられる者とし、野外活動のスキルアップを中心とした内容で実施した。

○7月11日(土), 12日(日) 受講者：20名(会場：大倉ふるさとセンター)

- ・研修1「リーダーとしての役割と心構え」
- ・研修2「サークル運営のあり方」
- ・研修3「キャンプファイヤーのコーディネート仕方」
- ・研修4「テントの設営」
- ・研修5「野外活動と安全」
- ・研修6「野外炊事」
- ・研修7「テントのしまい方」





【ジュニアリーダーサークル及び活動拠点館一覧】（平成 28 年 3 月現在）

区内連絡会	No	サークル名	登録数	活動拠点館名
青葉区（143 名） 連絡会 『星のすなごけい』 （青葉区中央市民センター）	1	MRVC くまっこ	39	広瀬市民センター
	2	かめ吉	7	福沢市民センター
	3	朝実巢あかよぼく	4	北山市民センター
	4	Colors	14	旭ヶ丘市民センター
	5	SKY	30	中山市民センター
	6	みずの森ーダー' S	21	水の森市民センター
	7	Blue Leaf Spirits	13	青葉区中央市民センター
宮城野区（41 名） 連絡会 『Lovers』 （宮城野区中央市民センター）	1	高砂フレンズクラブ	5	高砂市民センター
	2	岩切ガンキリーズ	0	岩切市民センター
	3	鶴ヶ谷 Yourself	4	鶴ヶ谷市民センター
	4	幸町 Fortune	10	幸町市民センター
	5	With Us 宮城野	22	宮城野区中央市民センター
若林区（62 名） 連絡会 『田んぼっ区』 （若林区中央市民センター）	1	郷郷七郷	10	七郷市民センター
	2	六郷村	7	六郷市民センター
	3	ビ野沖ヲ	7	沖野市民センター
	4	JARO	21	若林区中央市民センター
	5	ワンマイル荒町	7	荒町市民センター
	6	若林にゃくりん	10	若林市民センター
太白区（59 名） 連絡会 『ANON』 （太白区中央市民センター）	1	なかだかな	12	中田市民センター
	2	おいでもん	12	生出市民センター
	3	ジュニアリーダーサークル Green Powers	0	秋保市民センター
	4	にしたがつつまん	17	西多賀市民センター
	5	ながまっくる	18	太白区中央市民センター
泉区（186 名） 連絡会 『ざわざわ森』 （泉区中央市民センター）	1	黒松ファミリー	15	黒松市民センター
	2	南光台アドバルーン	4	南光台市民センター
	3	もみの木カリヨン	20	根白石市民センター
	4	向陽台ぱびふぺパレット	0	松陵市民センター
	5	将監くれよん	15	桂市民センター
	6	長命ヶ丘巣子っぷ	11	南中山市民センター
	7	高森流星サークル	14	高森市民センター
	8	寺岡流星サークル	15	寺岡市民センター
	9	七北田 JL サークルありす	19	泉区中央市民センター
	10	みちのく松陵	39	松陵市民センター
	11	加茂プレゼント	9	加茂市民センター
	12	パズル鶴が丘	8	松森市民センター
	13	根住 s	17	根白石市民センター
市全体 （ 491 名 / 36 サークル ） 仙台市連絡会 『ずんだ』 （生涯学習支援センター）				

#### ④ インリーダー研修会

子ども会活動の充実を図るため、子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に、子ども会活動についての知識やレクリエーションなどの実技を学習するための研修会を実施した。

【平成 27 年度実績】

区	開催回数	延受講者
青葉区	11	535
宮城野区	9	419
若林区	6	355
太白区	11	599
泉区	23	1,317
合 計	60	3,225

#### ⑤ 実習受入

##### ○社会教育実習生

宮城教育大学、東北学院大学からの依頼を受け、各大学の社会教育主事資格取得を目指す学生を社会教育実習生として各区中央市民センターで受け入れ、公民館（市民センター）の概要や講座の企画立案・実践について指導した。

a. 施設実習 H27. 8. 25～H27. 8. 30

b. 講座実習 H27. 9～H27. 11

c. 実習報告 H28. 2. 19

実習生 東北学院大 17 名、宮城教育大学 3 名 (a. のみ)、駒澤大学 1 名及び千葉大学 1 名 (a. のみ H27. 9. 9 まで)

##### ○児童・生徒の職場体験実習

小学生、中学生の職場体験実習を受け入れ、市民センター業務について学ぶ機会を提供した。

受け入れ学校数及び人数 小学校（1 校 6 名）、中学校（5 校 16 名）

#### ⑤ 学びを支えるボランティアセミナー

##### <生涯学習支援センター>

「学びのまち・仙台」を支える基盤の充実をめざし、より多くの市民や団体が、学びの活動や学びを生かした活動に参画できるよう、市民や行政といった立場の違いを越えて理念の共有を図り、「学びのまち・仙台」を支える基盤を充実させることを目的として実施した。

○日時：平成 27 年 11 月 27 日（金）

○会場：生涯学習支援センター 第 1 セミナー室

○対象：社会教育施設等で活動するボランティア、社会教育施設職員、社会教育施設での学びを支えるボランティア活動に興味や意欲のある市民

○参加者数：35 名

○内容：基調講話「学びを支えるボランティアの力，市民の力」

【講師】 大久保 朝江 氏

(認定特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる 代表理事)

事例発表

仙台市天文台

職員：スタッフ（学芸員）佐々木 瑞穂 氏

ボランティア：スタッフサポーター 鈴木 登 氏

仙台市榴ヶ岡市民センター

職員：主任 笹川 圭子 氏

ボランティア：東口ガイドボランティア宮城野さんぽみち事務局長

久保 一 氏

情報交換

## 6 仙台市公民館運営審議会

社会教育法第29条、仙台市市民センター条例第13条に基づき、市民センターにおける各種の事業の企画実施につき調査審議を行う、本市が設置するすべての市民センターに共通の公民館運営審議会として設置している。

現委員は14人で、任期は平成27年11月1日から平成29年10月31日までの2年間となっている。祐祐

### 【委員名簿】 [平成28年8月1日現在]

氏 名	職業または所属団体
阿 部 侑 生	D r e a m F i e l d 代表
市 瀬 智 紀	宮城教育大学附属国際理解教育研究センター教授
幾 世 橋 広 子	仙台市社会学級研究会顧問
小 岩 孝 子	NPO 法人 FOR YOU にこにこの家理事長
小 地 沢 将 之	仙台高等専門学校建築デザイン学科准教授
○ 齋 藤 純 子	NPO 法人せんだい杜の子ども劇場代表理事
齊 藤 康 則	東北学院大学経済学部准教授
◎ 佐 藤 直 由	東北文化学園大学医療福祉学部教授
島 倉 美 穂	公募委員
菅 井 茂	仙台市連合町内会長会庶務理事
鈴 木 一 彦	仙台市立東六郷小学校校長
中 山 聖 子	NPO 法人ハーベスト常務理事
吉 田 祐 也	学校法人尚絅学院職員
渡 辺 博	仙台市議会議員

◎：会長 ○：副会長 敬称略・50音順

### 【近年の審議内容（平成15年度～平成27年度）】

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成15年 10月7日	提言	市民センターにおける子どもの事業のあり方について	1 審議会における検討の過程 2 子どもの事業に取り組む課題と視点 3 ジュニアリーダーの育成と活動支援 4 学社連携・融合事業について 5 学校週5日制に対応した事業について
平成17年 9月12日	提言	市民センターにおける市民参加と市民協働の推進について	1 市民参加と市民協働の課題 2 市民センター運営における市民参加について 3 市民企画委員によるプログラムづくりについて 4 市民参加を広げる事業活動をめざして
平成19年 10月30日	答申	市民センターの施設理念と運営方針の見直しについて	1 見直しの背景 2 見直しにあたっての考え方 3 市民センターの施設理念と運営方針

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成 21 年 10 月 13 日	報告	審議の経過報告	1 今期審議会のテーマ設定と議論の経緯について 2 経過報告のまとめについて <これまでの審議内容(各委員の意見)の概要> 1 市民センターの区への移管について 2 連携事業の調査からみえてきたもの <市民センターが大切にしてきた社会教育の価値とは> (梨本雄太郎委員) <区行政との「融合」をめぐる> (石井山竜平委員)
平成 22 年 3 月 16 日	意見	「次期行財政改革計画(素案)」に対する意見書	区役所への移管については課題や懸念があることから、それらを解決・解消した上で判断するべきと考える。
平成 22 年 8 月 31 日	提案	市民センターを拠点とした新しいまちづくりの提案 —仙台プラン—	<市民センターを拠点とした新しいまちづくり> 1 意識を変える 2 人材発掘・育成とネットワーク化 3 市民の活動の場を生み出し支援する <新しいまちづくりに向けた市民センターの新たな一歩 / 今後の取り組み[提案] / 仙台プラン対応事業案> 1 住民参画・問題解決型学習事業 2 子ども参画型社会創造事業 3 学社連携・既存の事業範囲枠を超えた公共施設の連携事業
平成 23 年 1 月 25 日	意見	「市民センターを活かした地域づくりの推進」に関する意見	1 検討の進め方について 2 組織見直しをめぐる課題について
平成 25 年 5 月 31 日	答申	仙台市市民センター事業の評価のあり方について	1 これまでの経緯 2 評価の現状と基本的な考え方 3 本審議会が実施する外部評価 4 本審議会以外が実施する外部評価 5 まとめ
平成 25 年 10 月 26 日	報告	平成 24 年度仙台市市民センター事業評価報告書	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果 4 まとめ
平成 25 年 10 月 26 日	意見	仙台市市民センターの施設理念と運営方針の見直しに関する意見について	1 「仙台市市民センターの施設理念」について 2 「仙台市市民センター事業の運営方針」について 3 「仙台市市民センターの施設管理の運営方針」について 4 東日本大震災を踏まえた内容の見直しについて 5 その他
平成 26 年 7 月 31 日	報告	平成 25 年度仙台市市民センター事業評価報告書	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果 4 まとめ
平成 27 年 8 月 25 日	報告	平成 26 年度仙台市市民センター事業評価報告書	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果 4 まとめ
平成 27 年 10 月 17 日	意見	震災を踏まえた今後の市民センター事業のあり方等について	1 震災後の取り組みの成果と課題 2 今後の市民センター事業に関する委員の意見

【平成27年度の審議経過】

開催日	会議種別	協議議題
5月26日(火)	定例会	審議： (1) 震災を踏まえた今後の市民センター事業のあり方等について
7月14日(火)	定例会	審議： (1) 震災を踏まえた今後の市民センター事業のあり方等について (2) 平成26年度事業評価報告書(案)について
8月25日(火)	定例会	審議： (1) 震災を踏まえた今後の市民センター事業のあり方等について
11月10日(木)	定例会	委嘱状交付式 (1) 会長, 副会長選出 協議： (2) 会議の公開, 非公開について (3) 議事録及び署名人について (4) 公民館運営審議会定例会の日程について 報告： (1) 審議会の運営について (2) 各区中央市民センターの区役所への移管にかかる事業検証報告書(案)について
1月28日(木)	定例会	審議： (1) 今期の審議の進め方について (2) 今期の仙台市市民センター事業の評価について 報告： 「各区中央市民センターの区役所への移管にかかる事業の検証について」
3月24日(木)	定例会	審議： 「今期の仙台市市民センター事業の評価について」 ○話題提供